

方向の考えを伺う。  
②町長は役場組織の抜本的な見直しとその実行を議会で答弁しているが、その検証状況を伺う。

③町政執行上の組織体制の維持、地域における雇用状況から大きな比重を占めている町の臨時職員、非常勤職員の待遇改善状況と今後の対応を伺う。

**高薄町長**

①現在、一般職は161名（技術職や専門職も含む）。そのうち115名ほどが40〜50代である。

退職者が多い時代に入る緩和策として、十勝全体では採用人数の幅を広げており、また、社会人枠を入れながら採用することによってバランスを取るようになっている。

②組織の課題整理をして調査を行った結果、課は小規模にして数を多くした方がいいのではないかと、職員定数や人事管理を短期・中期・長期と区分していかなければならないと考えている。

③臨時職員は、短期・長期合わせて現在115名ほどいる。保育現場等についてはできるだけ職員に切り替えていきたい。非常勤職員は、できるだけ少なくなるようにしてきている。

**認知症サポーター  
—養成の継続的な取り組みを**

**奥秋康子議員**

①国の示した、「認知症を知り地域をつくる10カ年構想」が到達の年であるが、目標どおりに進められてきたか。これまでに何人の認知症サポーターが誕生しているか。

②役場職員も以前に受講されたとのことであるが、受講状況と今後の対応は。

③清水町の高齢化率は2020年には非常に高い40・5%になると予想されており、それに伴い認知症高齢者も増えると思われる。認知症サポーター養成の継続的な取り組みが必要と思うがいかがか。

**高薄町長**

①本町は、平成32年までに受講者千人を目標にしているが、平成25年度末で約750人となっており、計画より早く達成できる見込み。今後多くの方に受講していただくよう努力する。

②職員は、職種の関係もあるが、職員研修として約70名が受講している。今後職員研修としての実施を考えている。

③講師の協力を得ることも、講座の継続性、講師資格取得等も含めて町民へ理解を求めていきたい。



認知症サポーターの証「オレンジリング」

**社会保障・税  
番号制度への  
対応**

**奥秋康子議員**

①システムの改修や条例の見直しが必要と思われるが、この準備がどの程度整っているのか伺う。

②10月には町民一人ひとりに12桁のマイナンバーが通知される。限られた時間で職員はこの制度を習熟しなければならないが、研修計画は具体的なものがあるか。

③町民にこの制度をどのように周知していく考えか。

**高薄町長**

①平成27年10月に個人への番号通知、平成28年1月から個人番号の利用開始とカードの交付、平成29年1月以降に国や自治体における情報連携開始が予定されている。

9月の補正予算によりシステム整備の業務委託費を計上しており、各担

当部署において、準備を進めている。

②条例改正や個人カードの交付をはじめ、各担当部署で必要に応じた研修を受けていく。

③パンフレット等の配布を含め、周知していく。住民に不安感を抱かせないような体制づくりや制度を活用する場合の利便性の向上に努める。



広報用ロゴ「マイナンバー」マーク

**交流人口  
拡大支援**

**奥秋康子議員**

スポーツ、文化等の合宿誘致及びイベントの開催等により交流人口の拡大を図り、地域経済の活性化に寄与するとして、平成25年6月定例会でスポーツツーリズム協会に

対する補助金の補正予算が提案されたが、その時示された事業計画の進捗状況と今後の対応を伺う。

**高薄町長**

事業計画どおりには進んでいないのが実態。計画では競技施設が必要であり、希望の場所での話を進めていたが、相手方の事情もありスムーズに話を進められなかった。

団体の専務理事や担当者とは、計画が遅れていることについての話し合いをしてきており、事業展開の中で努力を積み重ねていただきたいと伝えている。

**町内公園の  
遊具の充実**

**佐藤幸一議員**

町内には数多くの公園があるが、子どもたちが遊ぶ遊具が少ないと感じる。特に多くの子どもたちが利用する中央公園の遊具を充実してはどうか。